

# 世界旅打ち気分

●第34回・ゴールデンゲートとアケダクト

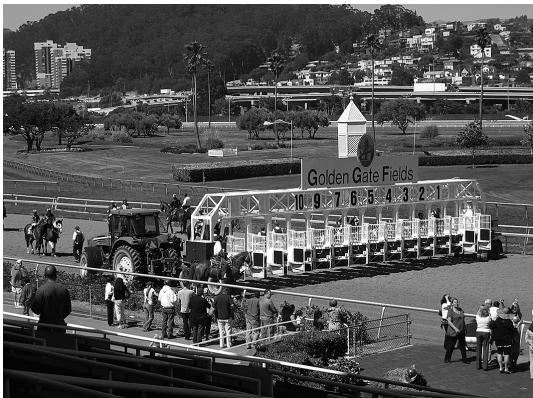
須田鷹雄



一段掘り下げられたところにある  
アケダクトの独特な装鞍所兼ハドック



手前が市内からアケダクトに行くとき  
降りる駅、奥が帰りに乗る駅



ゴールデンゲートフィールズ競馬場、  
発走直前の様子

写真的カラー版は  
<https://www.instagram.com/sudatakaoshoten/>  
#グリーンファーム会報#2021年4月号  
でご覧いただけます

<https://www.instagram.com/sudatakaoshoten/>

私もそつだが、海外旅行を趣味としている人は「ロナ禍の1年以上を覗々として過ごしている」とだろう。海外に行けるようになったらすぐ行く、と計画している人この連載ではマイアックな競馬場優先というか、「実際にそんなことに行く読者おらんやろ」みたいな競馬場を多く扱ってきたが、今は海外渡航再開に備えて、普通の観光で行きそうな都市の競馬場をふたつ紹介しようと思う。

ひとつめは、サンフランシスコにある「ゴールデンゲートフィールズ競馬場」。そもそもサンフランシスコは「ベタな観光地」の中ではおすすめできる渡航先だと思っていい。ダウンタウンでは坂が多いぶん日本では見られないようなアングルの風景が見られるし、そこを走るケーブルカーも楽しい。湾内遊覧船やシーフードのレストランなど、海外旅行初心者でも楽しめる要素がたくさんある。野球やアメフトの観戦なども選択肢にならへる。

日本人がよく泊まるホテルやファインシャーマンズワーフなどの観光

一番マズい「ラビオリ」を「」で食べたことがあるのでその点はお知らせしておく。どのくらいマズかったかというと、マズさを確認するためにもう一度食べてみようかと思うているほどだ。

今回紹介する2つめの競馬場は、西海岸から一気に東海岸に飛んで「ヨークークのアケダクト競馬場」だ。

ご存知の方も多いと思うが、アケダクト競馬場はJFケネディ国際空港から近くにあります。夜便で「ヨークークを発つときは、空港の手荷物預かり所に荷物を預けておいて、空港内シャトル+地下鉄で競馬を見に行くような」ともできる。滞在中に市内から行く場合は地下鉄A線で一本だが、乗る駅によってはその治安が良くない」とや、乗り換え駅がおつかないこともある。これは競馬の問題ではなく「ヨークークの問題なのでどうしようもない。

また、乗降する駅が特殊な形なので注意が必要だ。競馬場横には「アケダクト競馬場駅」があるが、これは市内に戻るときの専用駅で、市内から行くときはひとつ先の

「ゴールデンゲート」を「」で食べたことがあるのでその点はお知らせしておく。どのくらいマズかつたかというと、マズさを確認するためにもう一度食べてみようかと思うているほどだ。

今回紹介する2つめの競馬場は、西海岸から一気に東海岸に飛んで「ヨークークのアケダクト競馬場」だ。

ご存知の方も多いと思うが、アケダクト競馬場はJFケネディ国際空港から近くにあります。夜便で「ヨークークを発つときは、空港の手荷物預かり所に荷物を預けておいて、空港内シャトル+地下鉄で競馬を見に行くような」ともできる。滞在中に市内から行く場合は地下鉄A線で一本だが、乗る駅によってはその治安が良くない」とや、乗り換え駅がおつかないもある。これは競馬の問題ではなく「ヨークークの問題なのでどうしようもない。

また、乗降する駅が特殊な形なので注意が必要だ。競馬場横には「アケダクト競馬場駅」があるが、これは市内に戻るときの専用駅で、市内から行くときはひとつ先の

アケダクトノースコンチネンタルアベニュー駅で降りることになる。そこから歩いてもすぐだし、いまはアケダクト競馬場の場内にゲンティングループのカジノが併設されているので(というか、カジノが主で競馬が従になってしまっている)そのカジノペーストン輸送するバスもある。行き来のときはメトロカード(地下鉄のカード)に度数の入った形で持つていないと立ち往生することができる。注意。筆者は昔、自動改札しかない帰りの駅に入れず、そこにいたおじさんにお金を払って入場用のタッチをしてもらったことがある(乗るとき課金で下りるときは自由なので、それで乗れる)。

カジノがメインになっている様子は寂しくもあるが、カジノがなければ競馬場が存続できなかつたらうし、競馬もカジノゲームも遊べると思えば悪いことではない。競馬スタンド部分とカジノ部分は行き来自由なので、競馬の合間にカジノのホールドートを使う」ともできる。ただ筆者は「人生で一番マズい海南チキンライス」を食べたがあるので注意している。

同じ「ヨークークにあるベルモント競馬場に比べるとアケダクトのほうが(競馬場部分は)より退廃した雰囲気というか、灰色のギャンブルおやじ色が強い感じがあるが、それを楽しむ競馬場とわりきればよいだろう。筆者は冬に行つたことはないが、冬開催は「こんな極寒の中で競馬やるかね!」といふ独特な雰囲気があり、それを経験してもよいかもしれない。

他の競馬場には無い、アケダクト独特的の要素としては「一段下がった装鞍所」がある。写真で伝わるかわからないが、ファンエリアから一段下がったところに装鞍所とパドックがあり、ファンはそれを見下ろす形になる。

アケダクトも10年近く行っていないのでグーグルマップで確認したが、この形は今まで変わっていないようだ。どうしてこのような形になっているのかは分からぬが、ともあれ一度はご覧いただきたいものである。

「ヨークークは「ロナ禍のど真ん中」というか、いつ行けるようになるか定かではないが、日本人に人気の観光地もあるし、1日も早い終息を期待したい。

この「ゴールデンゲート」は、現在北カリリフォルニアでは唯一のレギュラー開催場となっている(他に「フェアマーケット」が開催する競馬場はある)。かつては「バイメドウズ」という競馬場もあったのだが、カリリフォルニア州の競馬場はオールウェザートラック化しなければならないと費用が出せないということと再開発需要によって廃止となってしまった。

現在は南カリリフォルニアのサンタクラタ、ロスアラミitos(?)も存在しているが、デルマーでトラックの高い競馬が行われ、それよりやや下のクラスが「ゴールデンゲート」に出走するのが基本の形だ。

現在は南カリリフォルニアのサンタクラタ、ロスアラミitos(?)も存在しているが、デルマーでトラックの高い競馬が行われ、それよりやや下のクラスが「ゴールデンゲート」に出走するのが基本の形だ。

海はなくとも、景色は開放感があつて素晴らしい。向正面に高い建物がなく、青い空が広がっている。スタンダードやコース近くのベンチで馬を見ているだけでも良い気分になれる。

私も10年くらい行っていないのでいまどうなっているかの確信はないが、少なくとも以前はギフトショップがあり品揃えもそれなりに充実していた。飲食は、いちばんしっかりした店としてターフクラブプレストランというレストランがあり、ネットで席の予約もできる。軽く済ませたいときには他にホースマンズバーというバーや、ティストオブハイタリーというバスタ等の売店もある。ただ後者については、「人生で

だ。一応重賞もG3がふたつある。

競馬場の立地は、サンフランシスコ湾のすぐ横。となると素晴らしいベイビローが……と思つきや、湾を背にする形でスタンドが建つ

……と思わないでもないが、それはそれで午後に西日がとつもなくまぶしい」という」になっていたら

場を作ってくれたらよかったですのに……

思はないでもないが、それはそれで午後に西日がとつもなくまぶしい」という」になっていたら